



設立の宣言から活動がスタートし

たことも、目を見張る思いがしました。「あらゆる子どもがともに生き、元気でいきいき活動ができる

き、「まちづくり」をめざし……(以

下略)。

「『児童の世紀』を振り返る」の連載は今月号が最終回になりました。本田先生、たくさんの示唆をどうもありがとうございました。

*

私の住む川崎市では、"川崎子ども・夢・共和国" ("夢・共")といふ活動が、三年前の四月に市の事業として始められました。息子は中学入学と同時にそのメンバーになり、今年で三年目になります。

"夢・共"には初回から驚かされました。息子は、当日の交通費をもつて帰ってきました。この会への出席に伴う、交通費、宿泊費は市が負担するのです。そして、「委員会

幼児の教育

第九十九卷 第三号
(1998年3月号)

発行 平成十二年三月一日

編集兼発行人 田代和美
発行所 日本幼稚園協会

〒112-8810 東京都文京区大塚二丁目一

印刷所 図書印刷株式会社
お茶の水女子大学附属幼稚園内

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二

発売所 株式会社 フレーベル館
〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一九
六一一四一九

電話 03-3539-1661-13 (営業)
振替 00-190-11-19640

03-3539-1660-4 (編集)

☆ 本誌ご購読のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などございましたら、おとりかえいたします。